

さ ざ ん か

第 106 号、2010 年 9 月

今年の暑さは統計上も裏づけされた（統計開始以来 113 年で最高の暑さ）正真正銘の猛暑でした。熱中症で5万人以上の方が救急車で搬送され、170人近くが亡くなったようです。

昔は、いくら暑くても暑さで死んだ人の話は聞いたことがありませんでした。寒さもそうですね。この日本で熱中症とか凍死とかは考えられない状況だと思っていました。そういう状況の人がいても、多分、近所の誰かが気がつき、助けるのではないだろうかと思っていました。したがって、飢え死にとか、凍死とか、暑さで死ぬなどと云うことは遠い外国の話だろうと思っていました。

時代は変わっていきます。こんなに多くの方が熱中症で亡くなったのは、自然の「暑さ」だけの問題ではなく、社会的にはむしろ近隣の間人間関係が「冷めた」せいではないかと思われれます。ああ、芭蕉は「秋深し 隣は何をする人ぞ」と詠みました。今はできるだけ、隣近所と関係を持ちたくない人が増えています。プライバシーの概念が、いびつに浸透してしまっただけで過剰な個人情報保護などにみるように、他人に干渉しようとする空気、雰囲気はすっかり失われています。秋深くない真夏でも隣への関心があれば、早期発見が可能でしょうから、おそらく熱中症で死んだりしなかったでしょう。

しかしこれもまた、時代を反映していることだといえ、そういうことなのでしょう。あえてそれに流されまいとするのは、正しい姿勢かどうか。時代に流されていくのもまた一つの選択でしょうから。

俳句

西屋敷 喜美子

新涼や 若き理学士 羽ばたけ

酷暑去り 老人会の バスの旅

リハビリの 医師の許可あり 秋の旅

県立北薩病院の理念

慈愛・協調・前進

県立北薩病院の基本方針

- 1 患者さんの満足、ご家族の安心を提供します
 - 2 急性期医療の実践と、より高い専門医療を追求します
 - 3 地域の医療、福祉との連携を強め、これを支援します
 - 4 仕事を通して喜びと生き甲斐を追求します
-
-

病院からのお知らせ

- * 7月から当院はDPC対象病院となり入院、外来のシステムが若干変わりました。具体的には、主として長期入院が困難になります。そのかわり、リハビリテーション中心の亜急性期病床などの設定がありますので、それらをご利用いただいております。
- * 病院内では、全ての方にマスク着用をお願いしておりましたが、とりあえず4月から義務付けは解除いたしました。また寒い季節となってきました。可能な方はマスク着用をお願いいたします。
- * 骨密度、測ってみられましたか？ご希望の方はいつでもできますので、各科窓口でおたずねください。適切な治療で骨粗しょう症の進行を予防できることがあります。骨密度を上げるお薬を服用している方は、骨密度が上昇したかどうか確認してみてもいかがでしょうか。骨折予防は寝たきり予防につながります。骨年齢：あなたの骨は〇〇歳です。という表示が出ます。
- * MRIで脳の検査をしてみませんか？目的は脳卒中や認知症（ボケ）の予防につながることがあるからです。また、脳動脈瘤（くも膜下出血の原因となる）の発見にも威力を発揮します。脳ドック以外でも脳神経外科または神経内科外来にてご相談ください。無症候性の病変（症状はないけど梗塞がある）がみつかると予防の治療を開始した方もおられます。寝たきりや認知症にならないためにも一度は検査されることをお勧めいたします。

- * MRI は腰痛の検査にも威力を発揮します（脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニアなど）。あるいは肩こりや手のしびれの原因を探すのにも有用です。精密検査希望の方は神経内科外来にてご相談下さい。
- * 新式のマンモグラフィーが導入されております。乳がん検査に威力を発揮いたします。近年乳がんが増加傾向です。乳がんが気になる方は外科外来へお申し出ください。

ゆだんはきんもつ 別府政隆

季節の移り変わり、そして変化。今年は特に6月から約1か月余り猛烈な降雨に見舞われ、全国的にも多大な被害をもたらした。また、今度は厚い真夏の季節がやって来た。これまでにない猛烈な暑さは、35度以上が連日続き、なかでも記録的な38.9度もある。猛烈な暑さで熱中症にかかる人も少なくない。この暑さによる交通事故、川や海での水難事故、食中毒等、子供は勿論、高齢者にとっては要注意な季節である。これからは台風の季節でもある。油断は禁物である。

また、予想もしなかった宮崎県の家畜伝染病口蹄疫は全国民を驚かせた。こうして考えて見ると、季節の変わりにはお互いが特に注意すべきである。今年のこの真夏の暑さ、温暖化現象だろうか。テレビニュースでは、ヒートアイランドの現象であると放映した。越した異変の季節には子供、高齢者にとっては特に要注意である。これまでの自分の人生を省みる時、時代の移り変わりと共に、四季に変化が見られる。増しては、日常の生活にも大部変化がある。

昨年、高校、大学を卒業しても就職出来ない人が全国で20万人もいる現状である。少子、高齢化していく今日、これからどのように生きていくのか疑問である。そこで自分なりに考えた。世の中は決して一人では生きられない。若きも老いも皆、お互いの良き人間関係をもつ事である。何でも話し合える人、何でも聞いてもらえる人を一人でも多く持つ事である。明日へ向かって残された人生を悔いのないよう生きよう。

頑張れオールドパワー カラーマン（とそのジイちゃん）

病院に行くと医者からは、何でもかんでも、年のせいにされてしまう。腰が痛いのも、年のせい。膝が痛いのも、年のせい。ふらふらするのも、年のせい。アタマが痛いのも、年のせい。肩がこるのも、年のせい。物忘れをするのも、年のせい。食欲がないのも、年のせい。目がみえにくいのも、年のせい。耳鳴りがするのも、年のせい。耳が聞こえにくいのも、年のせい。おしっこが近いのも、年のせい。物忘れをするのも、年のせい。夜眠れないのも、年のせい。便の通じが悪いのも、年のせい。足腰が弱くなったのも、年のせい。

い。血圧が高いのも年のせい。コレステロールが高いのも、年のせい。糖が高いのも、年のせい。心臓が弱ったのも年のせい。手足が冷えるのも、年のせい。手足がほてるのも、年のせい。

（そうじゃのう、それはその通りかもしれんのう。年のせいだと、いわれれば年寄りには反論する余地がなくなるものう。ブスな女にあんたがもてないのは容姿のせいだと言うようなもんかのう。ほんとはそんな事はないのじゃがのう。女の美しさは、内面からでてくるオーラみたいなもんがあるんじゃないが、若いニイチャンたちには分からんかもしれんのう。ちょっと例えを間違えたが、これも年のせいじゃのう）

医療費が高くなるのも年寄りのせい。高齢化社会になるのも、年寄りのせい。国の借金が増えるのも、年寄りのせい。世の中が活気がないのも年寄りのせい。少子化も年寄りのせい。限界集落も年寄りしかいないせい。

ああ、おそろしいことだ。まだまだ続く。日本の景気が悪いのも、年寄りのせい。デフレも年寄りのせい。役人が仕事をしないのも、年寄りのせい。普天間基地の移転先が見つからないのも年寄りのせい。政治家とカネの縁が切れないのも、年寄りのせい。若者の就職先が少ないのも、年寄りのせい。フリーターが多いのも、年寄りのせい。貧困も年寄りのせい。

まだまだ。生活保護がばかみたいに増えているのも（130万世帯）、年寄りのせい。ワールドカップでベスト 8 まですすめなかったのも、年寄りのせい。麻薬を使って女性を死に追い込んだ芸能人がすぐに救急車を呼ばなかったのも、年寄りのせい。

ああ、怒れ年寄り。怒れ高齢者。

（とは、いってもなあ。なかなか、怒れないし、どう怒りを表現していいかわからないし、怒るよりも今日の 1 日の無事を祈っていたほうが、いいしなあ。あんまり怒ると血圧上がって倒れそうだしなあ。）

敬老の日の統計。わが国では、65 才以上が 2800 万人、80 才以上で 800 万人の老人がいる。ちなみにベネズエラ、アフガニスタンの人口が 2800 万人、オーストリアが 836 万人、スイスが 760 万人の人口である。ついでに言えば、フィンランド 530 万人、ノルウェー 482 万人である。人間の数から見てもニッポンの老人パワーはバカにできない。

資産を持っている老人が力を発揮すれば、そこらへんの中流国一國に値する潜在能力があるのである。（平均貯蓄額：29 歳以下の若者 180 万円、65 才以上 1330 万円）

年寄りはお金を溜め込まず、お金を使うことによって人生を楽しむべきである。お金を使わないで人生を楽しむのが、一番いいと思っている年寄りがいるかもしれないが、それでは世の中への貢献度が少なくなってしまう。

老人よ、浪費せよ。怒りや嘆きを消費に変えよ。とりあえず可能な限り、旅行に行こうよ。国外であれ、国内の温泉であれそこで働く観光地の人が喜ぶ。いや、その前に旅行業者がたっぷり手数料をいただく。鉄道、航空、バス、タクシー会社が喜ぶ。ホテル、旅館が喜ぶ。旅先で病気になればその地の病院が喜ぶ。よしんば、旅先でなくなったとしても、その劇場性はこれまでの平凡な人生の十分な代償になりうるであろう。もう失うものもないのだから、怖いもの知らずで最後の舞台に立てばよいのである。

あの世の沙汰もカネ次第、というのはウソである。あの世にカネはもっていけないのは自明の事実である。あの世にいくための手数料（葬式代、墓代）だけあればあとのお金はバブルであるから、生きているうちに使いまくるのが正しい老後の過ごし方である。それは、ニッポンの景気を良くすることに繋がる。そしてそれは若者の雇用を生み出すことになるのだ。

年寄りよ。遊びまくれ。ただし、ギャンブルは気をつけないとね。パチンコで年金、貯金を全部すってしまえば、幾ら社会貢献とは言えパチンコ屋さんが儲かるばかり。パチンコ屋さんは儲けを社会に還元はしないから、パチンコにはまるのはやめよう。

（それも、そうじゃなあ。旅行と宴会。これが、老人遊びの王道じゃなあ。宴会は旅行とセットにできるから、つまりは旅が一番いいことじゃな。ヨーロッパでも中東でも、アメリカでも、南米でも、オーストラリアでも中国でも行ける機会があることだけでも、わたらの若い時から考えたら感動もんじゃなあ。遠くでなくても、一泊 2 日でも生涯心に残るたびをすることはできるしろう。アタマとカラダを使うから自然とリハビリテーションにもなるしろう）

お金さえ払えば、体調が悪い人用に、車いすツアーとか医者が添乗するツアーとかもできるであろう。（わしは個人的にはナースの添乗ツアーの方がいいのう。医者なら女医さんかろう。でも、女医さんはこわそうじゃから、やっぱりナースかろう）

要は、お金である。世の中、ギリシアローマ時代から、貨幣が世の中の循環の血液であったし、これからも変わらないであろう。

（年金制度さえしっかりして、死ぬまで毎月の生活が困らないのであれば、余ったお金は

全部社会に還元するのじゃがなあ。それも、寄付とかカッコいいことしなくて、旅行に行
って遊ぶことが社会貢献というのだったらなんとも嬉しいことじゃのう)

本日の結論：確かで安心できる年金制度の確立が、最大の景気回復策である。

1秒の世界

1秒間に

人は93mlの空気を呼吸し、心臓は60mlの血液を体に送り出し・・・

小腸で、170万個の細胞が生まれ替わり・・・

大型トラック63台分、252トンの化石燃料が使用され・・・

畳48枚分、78㎡の土地が中国で砂漠化し・・・

320万円の軍事費が使われ・・・

1.3台の乗用車が生産され・・・

テレビが4.2台生産され・・・

51トンのセメントが生産され・・・

1万6000缶の炭酸飲料が飲まれ・・・

3人が新たにインターネットユーザーになり...

世界中のニワトリが3万3000個のたまごを産み・・・

人口が2.4人増えている。

編集後記

平和なときに、人は昨日も平和であったので今日も平和であると思い、今日も平和であれば明日も平和に違いないと確信します。

そこにおおいなる過ちが潜んでいるのでしょうか。ひと時として同じ時間はあり得ないのであり、かたちのあるものはいつか壊れ、生あるものはいつか死ぬ、ということを忘れてしまいがちです。「死は前よりしも来たらず。かねて後ろに迫れり。」と兼好おじさんもいってますしね。みなさま、今日一日大切に生きていきましょう。(KT)

*